

あなたのまちで防災訓練をしましょう！

町会・自治会・管理組合等（自主防災組織）が主催して行われる自主防災訓練では、「防災知識を身につける」「防災対応力を高める」「地域の団結力を高める」など、災害に強い人・強いまちになるためのさまざまな体験ができます。みんなで参加しましょう。

○防災訓練の内容について

1. 避難誘導訓練

災害時に協力しあい、規律よく避難できると、助かる確立も高くなります。避難者の把握も大切ですので、同時に実施します。

2. 初期消火訓練

もし出火しても、小さいうちに消せれば心配ありません。消火器の使い方、天ぷら火災消火、バケツリレー など

3. 応急救護訓練

覚えておけば、災害時ばかりでなく、いざというとき落ち着いて対処できます。心肺蘇生法、三角巾の使い方 など

4. 負傷者搬送訓練

ケガ人の救助に役に立ちます。担架の使い方 簡易担架の作り方 など

5. 起震車体験訓練

過去に起きた大地震のゆれを擬似体験します。

6. 煙道体験訓練

ビル火災等で発生する煙から避難する方法を学びます。

7. 炊き出し訓練

必要資機材、材料を調達し、給食給水訓練を実施します。

8. 119番通報訓練

119番（火事・救急）のかけ方を学びます。



○そのほか、こんな訓練はいかがですか

・避難所運営ゲーム【HUG（ハグ）】

HUG：Hinanzyo（避難所）Unei（運営）Game（ゲーム）の略

発災時の避難所で起こる様々な出来事や、避難者の年齢・性別・抱えている事情などが書かれたカードを、避難所を模したレイアウト図に配置し、避難所の開設・運営を模擬体験することができます。参加者の避難所運営に関する認識の統一が図れます。

・発災対応型訓練

壊れた塀の除去や人命救助、消火活動等々、実際の災害で発生する様々な困難を体験しながら、避難場所に集合する訓練です。

・災害図上訓練（DIG）DIG：Disaster Imagination Game の略

地域の地図に避難場所や防災倉庫、災害時に救護を必要とする人の住むお宅、塀が崩れるなど、被害が起きそうな地域などを書き込み、オリジナル地図を作ることで、自分の街と災害についての知識を身に付けます。